

ビキニデー高知(案)

一核被災フィールドワークとフォーラムー

ビキニ核被災検証会・太平洋核被災支援センター企画

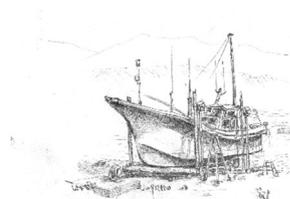
フィールドワーク室戸> 3月29日(日)

10:30 高知城ホールー高知駅ー

11:00 高知空港ー室戸フィールドワーク

(昼食、室戸港見学、室戸船員組合で被災船員・遺族との座談会)ー

18:00高知城ホール着 (高知市内交流会;会費制)



フォーラム「ビキニ事件の実相を伝え、広げるために」3月30日(月)

10:00~12:00(提言30分・報告8分) 会場・高知城ホール2階(丸の内) 参加費500円

提言「マーシャル諸島・セミパラチンスク核実験被災を分析する」

星正治広島大名誉教授 :高知の被災船員科学調査リーダー、第12回国際放射線影響学会賞、カザフスタン共和国の人々の健康維持管理への貢献に関する特別賞、放射線被曝者医療国際協力推進協議会、国連科学委員会国内対応委員会

提言「ビキニ被災船員の健康問題と労災申請で問われたもの」

間間元ビキニ核被災検証会共同代表 : 生協きたはま診療所長、マーシャル諸島、カザフスタン被ばく調査参加、第5福竜丸乗組員の労災認定に取り組む、医師「ビキニ水爆被災事件静岡県調査研究会」代表、第3回焼津平和賞を受賞

報告 橋田早苗「ビキニ紙芝居上映と全県原画展を開いて」

下本節子「被災船員・遺族の想いを伝える」

岡村啓佐「第五福竜丸展示館・オーストラリアでのビキニ写真展と講演」

討論ー 司会・岡林登志朗・濱田郁夫

*参加希望の方は3月25日までにご連絡(〒788-0785 高知県宿毛市山奈町芳奈 2779-2

tel/fax 0880-66-1763 携帯 090-4973-2192 メール masatosi.sky@orange.zero.jp 太平洋核

被災支援センター事務局)

申し込み締め切り 3月25日まで

宿泊は各自予約下さい。アクセス JAL 羽田空港 9:20 発ー高知空港着 10:50 着

JR 岡山駅 7:08 発ー高知駅着 9:53 着

同日30日、同会場(高知城ホール2階)で、**ビキニ労災訴訟関連の結成総会(13:00~)、
提訴(14:00)、記者会見(14:30~)**が予定されています。